

# 地域のストレングスを生かした就労支援のデザイン ——カフェHのエスノグラフィ序説——

キーワード：地域のストレングス、就労支援、デザイン、カフェ

○海老田大五朗<sup>1)</sup>、野崎智仁<sup>2)</sup>

新潟青陵大学<sup>1)</sup> NPO 法人 那須フロンティア<sup>2)</sup>

## I 目的

Saleebey, D. (1992) 以降、障害者福祉や地域福祉において、ストレングスを活かした支援の重要性が指摘されている。他方、近年の就労支援施設はカフェを併設し、接客業などの職業訓練の場として地域に開かれた場を提供しているところが多く見られるようになった。しかしながら、これら2つのことを両立して実践する試みは、管見の限り新潟県内はおろか日本全国を見渡してもそれほど多くあるわけではない。本調査報告の目的は、①「地域のストレングスを活かしたカフェがどのようにデザインされているか？」を明らかにすることであり、そのサブクエスションとして②「地域のストレングスを活かすこととはどのような実践がなされることか？」を丁寧に記述することである。

## II 方法

本研究は、Randall, D.ら(2010)やCrabtree, A.ら(2012)が提唱する、デザインの検討を中心にそえた、エスノメソドロジーに特徴付けられたエスノグラフィ的調査研究である。フィールドワークによる観察やインタビューを駆使することによって、地域のストレングスを活かしたカフェの実践を明らかにする。なお、本調査研究においては、新潟青陵大学の調査研究に関する倫理審査を受け、承認を得ている(承諾番号:2013011)。

## III 対象

本研究の調査研究対象となるのは、野崎の所属するNPO法人那須フロンティアが運営する、カフェH(仮名)の実践とそのデザインである。とりわけ本調査報告においては、内外装のデザイン、カフェHに置かれている小物のデザイン、カフェHのレシピのデザインに着目する。分析の前に、そもそもカフェという場所がどのような場所か確認しておかなければならない。カフェという場所は第一に人が集う場所であり、第二に食事を提供する場所であり、第三にその店での雰囲気を楽しむ場所である。カフェを運営する人びとは、この点について配慮している。

## IV 考察

NPO法人が運営主体である以上、カフェを運営する費用には限界がある。営利目的でカフェを運営するわけではなく、精神障害者の就労支援の一環としてのカフェ運営である。したがって、内外装のデザイン、小物のデザイン、レシピのデザインに共通することでは

あるが、何をするにせよ予算は相当限られたものになる。つまり、地域のボランティア(≒ストレングス)を最大限に活用することは、NPO法人が運営するカフェとして、経済面で最適化されることになる。他方で、支援員などの専門職者は就労支援の専門職者であって、カフェ運営の専門職者ではない。カフェの運営者の言葉を借りれば、「自分たちの力だけではたいしたものはお客様に提供できない」のだ。そこで、内外装のデザイン、小物、レシピを考えることが好きなボランティアを募り、参加していただいたボランティアにはそれぞれの得意な分野(≒ストレングス)でのアイデアを提供してもらおう。ボランティアは基本的に自分の好きなこと、趣味の延長で手伝いをするようになるので、義務的な力に拘束されているわけではなく、この意味において負荷の少ないボランティアの組織化になっている。ここに一つのデザインが見てとれる。募集するボランティアとボランティアが担う作業のマッチングが双方に最適化されているのだ。ボランティアへの義務的負荷が最小化される方向へ指向しており、なおかつカフェの内外装・小物・レシピが支援員だけでは提供できないサービスを提供可能にしている。

## V 結論

地域のストレングスを活かしたカフェHは、文字通り地域の人びとの集いの場になっている。就労支援事業所とは認識せず、一般のカフェとして来店する客が多い。実はこのこと自体が、精神障害者への偏見を取り除く地域への啓蒙活動にもなっており、週末や祝日にはこのカフェで講演会やライブ活動などのイベントも実施されている。地域でのイベントがあればカフェHも出店し、隣接する他店との交流を深め、就労の機会を得ている。カフェHは精神障害者の就労支援のための、地域の拠点として機能している。今後の課題としては、「就労支援のための、地域の拠点として機能すること」の内実や実践を明らかにすることなどが挙げられる。

## 引用文献

- 1) Saleebey, D. (ed.). Strengths Perspective in Social Work Practice. New York: Longman;1992.
- 2) Randall, D., Harper, R. & Rouncefield, M. Fieldwork for Design. London: Springer;2010.
- 3) Crabtree, A., Rouncefield, M. & Tolmie, P. Doing Design Ethnography. London: Springer;2012.